

入学試験過去問題  
数 学

大阪大学（理系）

対象年度：2021年

試験時間：150分

問題数：5問

(下書き用紙)

(下書き用紙)

1  $a, b$  を  $ab < 1$  をみたす正の実数とする.  $xy$  平面上の点  $P(a, b)$  から, 曲線  $y = \frac{1}{x}$  ( $x > 0$ ) に 2 本の接線を引き, その接点を  $Q\left(s, \frac{1}{s}\right)$ ,  $R\left(t, \frac{1}{t}\right)$  とする. ただし,  $s < t$  とする.

(1)  $s$  および  $t$  を  $a, b$  を用いて表せ.

(2) 点  $P(a, b)$  が曲線  $y = \frac{9}{4} - 3x^2$  上の  $x > 0, y > 0$  をみたす部分を動くとき,  $\frac{t}{s}$  の最小値とそのときの  $a, b$  の値を求めよ.

(配点率 20%)

(下書き用紙)

2 空間内に, 同一平面上にない4点  $O, A, B, C$  がある.  $s, t$  を  $0 < s < 1, 0 < t < 1$  をみたす実数とする. 線分  $OA$  を  $1:1$  に内分する点を  $A_0$ , 線分  $OB$  を  $1:2$  に内分する点を  $B_0$ , 線分  $AC$  を  $s:(1-s)$  に内分する点を  $P$ , 線分  $BC$  を  $t:(1-t)$  に内分する点を  $Q$  とする. さらに4点  $A_0, B_0, P, Q$  が同一平面上にあるとする.

(1)  $t$  を  $s$  を用いて表せ.

(2)  $|\vec{OA}| = 1, |\vec{OB}| = |\vec{OC}| = 2, \angle AOB = 120^\circ, \angle BOC = 90^\circ, \angle COA = 60^\circ,$   
 $\angle POQ = 90^\circ$  であるとき,  $s$  の値を求めよ.

(配点率 20 %)

(下書き用紙)

3  $n$  を自然数とし,  $t$  を  $t \geq 1$  をみたす実数とする.

(1)  $x \geq t$  のとき, 不等式

$$-\frac{(x-t)^2}{2} \leq \log x - \log t - \frac{1}{t}(x-t) \leq 0$$

が成り立つことを示せ.

(2) 不等式

$$-\frac{1}{6n^3} \leq \int_t^{t+\frac{1}{n}} \log x \, dx - \frac{1}{n} \log t - \frac{1}{2tn^2} \leq 0$$

が成り立つことを示せ.

(3)  $a_n = \sum_{k=0}^{n-1} \log \left( 1 + \frac{k}{n} \right)$  とおく.  $\lim_{n \rightarrow \infty} (a_n - pn) = q$  をみたすような実数  $p, q$  の値を求めよ.

(配点率 20 %)

4 整数  $a, b, c$  に関する次の条件 (\*) を考える.

$$\int_a^c (x^2 + bx) \, dx = \int_b^c (x^2 + ax) \, dx \quad \dots\dots (*)$$

(1) 整数  $a, b, c$  が (\*) および  $a \neq b$  をみたすとき,  $c$  は 3 の倍数であることを示せ.

(2)  $c = 3600$  のとき, (\*) および  $a < b$  をみたす整数の組  $(a, b)$  の個数を求めよ.

(配点率 20 %)

(下書き用紙)

5 次の問いに答えよ.

- (1)  $a$  を実数とする.  $x$  についての方程式  $x - \tan x = a$  の実数解のうち,  $|x| < \frac{\pi}{2}$  をみたすものがちょうど 1 個あることを示せ.
- (2) 自然数  $n$  に対し,  $x - \tan x = n\pi$  かつ  $|x| < \frac{\pi}{2}$  をみたす実数  $x$  を  $x_n$  とおく.  $t$  を  $|t| < \frac{\pi}{2}$  をみたす実数とする. このとき, 曲線  $C: y = \sin x$  上の点  $P(t, \sin t)$  における接線が, 不等式  $x \geq \frac{\pi}{2}$  の表す領域に含まれる点においても曲線  $C$  と接するための必要十分条件は,  $t$  が  $x_1, x_2, x_3, \dots$  のいずれかと等しいことであることを示せ.

(配点率 20 %)

